



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月1日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社  
コード番号 4410 URL [www.harima.co.jp](http://www.harima.co.jp)

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理グループ長 (氏名) 上辻 清隆

TEL 06-6201-2461

四半期報告書提出予定日 2022年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	22,184	27.1	1,340	67.2	1,643	60.9	895	36.3
2022年3月期第1四半期	17,460	10.5	801	462.3	1,021	279.1	656	85.8

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,562百万円 (59.5%) 2022年3月期第1四半期 1,606百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	35.57	
2022年3月期第1四半期	26.14	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	87,799	42,025	43.9
2022年3月期	78,905	40,104	46.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 38,503百万円 2022年3月期 36,741百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		19.00		19.00	38.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		21.00		21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年3月期 第2四半期末(予想)の内訳 普通配当 19円 記念配当 2円 配当合計 21円

2023年3月期 期末配当金(予想)の内訳 普通配当 19円 記念配当 2円 配当合計 21円

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,000	26.6	1,900	2.5	2,600	28.0	1,800	43.7	71.53
通期	99,000	30.1	2,700	16.9	3,400	1.0	2,500	43.2	99.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	26,080,396 株	2022年3月期	26,080,396 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	914,682 株	2022年3月期	914,657 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	25,165,733 株	2022年3月期1Q	25,133,937 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
参考資料 .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国政府による新型コロナウイルス感染防止対策と経済活動の両立が進んだことなどから、概ね回復基調で推移いたしました。一方で、世界情勢はウクライナ情勢の緊張が続き、エネルギー価格、原材料価格の高騰など不安定な状況が続いています。

日本経済も、経済活動は一部の業種に持ち直しの兆しが見られるものの、世界的な半導体不足及び原油高の影響のみならず、外国為替相場が円安方向に急激に変動したことなどから物価上昇圧力が高まり、経済活動に大きな影響を及ぼしました。

このような環境下、当社グループは新中期経営計画『NEW HARIMA 2026』の初年度に当たり、更なる事業の成長に取り組んでおります。

当社グループの海外事業は、欧米での粘接着剤用樹脂の売上高が増加し、製紙用薬品事業が堅調に推移したこともあり、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。利益面でも、原材料価格高騰の影響を受けましたが、売上高が増加したため、前年同四半期に比べて増加しました。

国内事業も、原材料価格高騰の影響を受けましたが、原材料価格の上昇に対する販売単価への転嫁が進んだことにより、売上高、利益面とも前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は221億8千4百万円となり、前年同四半期に比べ47億2千3百万円(27.1%)の増収となりました。

利益面では、営業利益は13億4千万円となり、前年同四半期に比べ5億3千8百万円(67.2%)の増益となりました。経常利益は16億4千3百万円となり、前年同四半期に比べ6億2千1百万円(60.9%)の増益となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億9千5百万円となり、前年同四半期に比べ2億3千8百万円(36.3%)の増益となりました。

(前年同期間比)

(単位：百万円)

	当第1四半期(A)	前第1四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	22,184	17,460	4,723	27.1%
営業利益	1,340	801	538	67.2%
経常利益	1,643	1,021	621	60.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	895	656	238	36.3%

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

① 樹脂化成品

(単位：百万円)

	当第1四半期(A)	前第1四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	4,695	4,367	327	7.5%
営業利益	58	5	52	879.1%

売上高は、需要減少はあるものの販売価格への転嫁が進み46億9千5百万円と、前年同四半期に比べ3億2千7百万円(7.5%)の増収となりました。営業利益は、5千8百万円と前年同四半期に比べ5千2百万円(879.1%)の増益となりました。

・塗料用樹脂は、建築関連が堅調に推移したことから、売上数量は前年同四半期並みとなりましたが、原料高騰に対する製品への価格転嫁が進み、売上高は増加しました。

・印刷インキ用樹脂は、商業印刷や新聞などに使用されるインキの需要が前年同四半期を下回り、売上数量は前年同四半期で減少しましたが、原料高騰に対する製品への価格転嫁が進み、売上高は前年同四半期並みとなりました。

・合成ゴム用乳化剤は、タイヤ生産量が前年同四半期比で減少するなど、需要の減少により売上数量は減少しましたが、原材料価格の高騰分の製品価格への転嫁が進み、売上高は増加しました。

② 製紙用薬品

(単位：百万円)

	当第1四半期(A)	前第1四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	5,532	4,626	906	19.6%
営業利益	397	448	△50	△11.3%

売上高は、引き続き堅調な段ボール原紙の需要により、55億3千2百万円と前年同四半期に比べ9億6百万円(19.6%)の増収となりました。営業利益は3億9千7百万円となり、原材料価格の高騰の影響もあり、前年同四半期に比べ5千万円(△11.3%)の減益となりました。

- ・国内では、通販の市場拡大による段ボール需要の増加に加え、東南アジアでの需要が拡大したことから、売上高は増加しました。
- ・中国では、紙、板紙の生産量は前年同四半期に比べ増加となり、古紙輸入規制強化による紙力増強剤の需要が堅調に推移したことから、売上高は増加しました。
- ・米国では、紙、板紙の生産量が前年同四半期に比べ増加となったことに加え、原材料価格の高騰により市場価格が上昇したことから、売上高は増加しました。

③ 電子材料

(単位：百万円)

	当第1四半期(A)	前第1四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	1,852	1,603	248	15.5%
営業利益	167	204	△36	△17.8%

売上高は、自動車生産台数が減少傾向にありましたが、旺盛な半導体需要の継続もあり、18億5千2百万円となり、前年同四半期に比べ2億4千8百万円(15.5%)の増収となりました。営業利益は、売上高は増加しましたが、原材料高騰による影響で、1億6千7百万円と前年同四半期に比べ3千6百万円(△17.8%)の減益となりました。

- ・熱交換器用ろう付け材料は、自動車生産台数の減少に伴い、自動車用熱交換器の需要が減少したことにより、売上高は減少しました。
- ・はんだ付け材料は、自動運転や電動化により電子部品の需要が増加傾向にあることから、売上高は増加しました。
- ・半導体用機能性樹脂は、5G通信インフラなどの需要拡大が継続していることから、売上高が増加しました。

④ ローター

(単位：百万円)

	当第1四半期(A)	前第1四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	9,611	6,519	3,092	47.4%
営業利益	929	518	411	79.5%

売上高は、欧米での堅調な需要を背景に、96億1千1百万円で、前年同四半期に比べ30億9千2百万円(47.4%)の増収となりました。営業利益は売上高の増加に加え、原材料価格の上昇に対する販売単価への転嫁が進んだことにより、9億2千9百万円と前年同四半期に比べ4億1千1百万円(79.5%)の増益となりました。

- ・粘着剤用樹脂の分野では、南米、オセアニア地域で物流の混乱に伴い販売数量は減少しましたが、全体としては通販市場の拡大に伴い宛名用ラベルシールに使用される粘着剤用樹脂の需要が世界的に増加し、また、路面標示塗料用樹脂の需要も北米を中心に堅調に推移したことから売上高は増加しました。
- ・印刷インキ用樹脂の分野では、情報のデジタル化を背景に需要の低迷は継続しているものの、コロナ禍からの経済回復に伴って全地域で需要が回復し、販売数量は増加しました。また、原材料価格の上昇に伴い、販売単価も上昇したことにより売上高は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2022年6月末(A)	2022年3月末(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
流動資産合計	47,256	44,237	3,018	6.8
固定資産合計	40,542	34,667	5,875	16.9
資産合計	87,799	78,905	8,894	11.3
流動負債合計	29,973	23,149	6,823	29.5
固定負債合計	15,800	15,650	149	1.0
負債合計	45,774	38,800	6,973	18.0
純資産合計	42,025	40,104	1,920	4.8
負債純資産合計	87,799	78,905	8,894	11.3
自己資本比率(%)	43.9	46.6	—	△2.7

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前期末に比べ88億9千4百万円増の877億9千9百万円となりました。増減の主な内容は以下の通りです。

(流動資産) 受取手形及び売掛金が17億9千7百万円増加し、商品及び製品が5億9千7百万円増加し、原材料及び貯蔵品が6億2千1百万円増加しております。

(固定資産) ヘンケル社資産譲受により顧客基盤が41億8千4百万円増加しております。

(流動負債) 支払手形及び買掛金が9億9千1百万円増加し、短期借入金が50億3千9百万円増加しております。

(固定負債) 長期借入金が3億2千3百万円増加しました。

(純資産) 為替換算調整勘定が15億6千6百万円増加したことにより純資産は増加しましたが、総資産も増加したことにより、自己資本比率は43.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおける欧米でのローター事業の堅調な需要背景により、粘接着剤用樹脂等の売上高増加が見込まれますので、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は、第2四半期累計期間、通期とも前回の予想を上回る見込みとなりました。

なお、第2四半期累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日)、通期(2022年4月1日から2023年3月31日)の連結業績予想につきましては、本日(2022年8月1日)付で開示しております「第2四半期連結累計期間業績予想と通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で数値を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,366,550	4,945,184
受取手形及び売掛金	20,147,880	21,945,525
有価証券	1,264,200	963,000
商品及び製品	7,070,773	7,668,496
原材料及び貯蔵品	8,307,696	8,929,260
その他	2,186,153	2,919,875
貸倒引当金	△105,653	△114,839
流動資産合計	44,237,601	47,256,503
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,292,427	8,396,177
機械装置及び運搬具(純額)	7,522,620	7,950,978
その他(純額)	7,586,615	7,842,419
有形固定資産合計	23,401,663	24,189,575
無形固定資産		
顧客基盤	—	4,184,973
その他	712,918	1,262,898
無形固定資産合計	712,918	5,447,872
投資その他の資産		
投資有価証券	8,863,255	9,277,903
その他	1,702,223	1,640,697
貸倒引当金	△12,619	△13,304
投資その他の資産合計	10,552,859	10,905,296
固定資産合計	34,667,441	40,542,743
資産合計	78,905,043	87,799,246

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,585,629	11,576,775
短期借入金	7,724,678	12,763,868
1年内返済予定の長期借入金	312,448	327,136
未払法人税等	375,950	676,413
役員賞与引当金	96,410	116,460
その他	4,054,741	4,512,841
流動負債合計	23,149,859	29,973,495
固定負債		
長期借入金	12,661,819	12,985,223
長期預り保証金	528,681	509,681
役員退職慰労引当金	4,854	4,967
退職給付に係る負債	242,337	165,164
資産除去債務	39,135	39,135
その他	2,173,933	2,096,403
固定負債合計	15,650,761	15,800,574
負債合計	38,800,621	45,774,069
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,759,970	9,759,970
利益剰余金	19,128,064	19,545,115
自己株式	△964,715	△964,735
株主資本合計	37,936,269	38,353,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191,499	27,579
繰延ヘッジ損益	56,704	—
為替換算調整勘定	△1,287,124	278,918
退職給付に係る調整累計額	△156,205	△156,787
その他の包括利益累計額合計	△1,195,126	149,711
非支配株主持分	3,363,279	3,522,164
純資産合計	40,104,422	42,025,177
負債純資産合計	78,905,043	87,799,246



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)
売上高	17,460,818	22,184,806
売上原価	13,091,809	16,921,926
売上総利益	4,369,008	5,262,879
販売費及び一般管理費	3,567,112	3,922,221
営業利益	801,896	1,340,657
営業外収益		
受取利息	7,779	16,975
受取配当金	36,783	47,569
不動産賃貸料	8,643	9,038
為替差益	78,330	958
持分法による投資利益	122,294	303,201
その他	37,807	56,169
営業外収益合計	291,639	433,912
営業外費用		
支払利息	65,545	70,617
その他	6,702	60,795
営業外費用合計	72,247	131,413
経常利益	1,021,288	1,643,157
特別損失		
投資有価証券評価損	—	42,489
特別損失合計	—	42,489
税金等調整前四半期純利益	1,021,288	1,600,668
法人税、住民税及び事業税	179,558	275,864
法人税等調整額	105,665	322,146
法人税等合計	285,223	598,010
四半期純利益	736,065	1,002,657
非支配株主に帰属する四半期純利益	79,183	107,457
親会社株主に帰属する四半期純利益	656,881	895,200

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	736,065	1,002,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98,878	△163,920
繰延ヘッジ損益	—	△56,704
為替換算調整勘定	968,950	1,781,307
退職給付に係る調整額	530	△605
持分法適用会社に対する持分相当額	12	1
その他の包括利益合計	870,615	1,560,077
四半期包括利益	1,606,680	2,562,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,374,424	2,240,038
非支配株主に係る四半期包括利益	232,256	322,697

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	4,367,742	4,626,117	1,603,202	6,519,775	17,116,837	383,994	17,500,831	△40,013	17,460,818
(2)セグメント 間の内部売上 高又は振替高	70,837	—	—	147,920	218,758	44,124	262,883	△262,883	—
計	4,438,580	4,626,117	1,603,202	6,667,696	17,335,596	428,118	17,763,714	△302,896	17,460,818
セグメント利益 又は損失(△)	5,935	448,075	204,344	518,073	1,176,428	△4,974	1,171,454	△369,557	801,896

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	4,695,715	5,532,809	1,852,035	9,611,875	21,692,436	492,042	22,184,479	326	22,184,806
(2)セグメント 間の内部売上 高又は振替高	72,784	84,250	—	260,895	417,930	46,514	464,445	△464,445	—
計	4,768,500	5,617,060	1,852,035	9,872,771	22,110,367	538,557	22,648,924	△464,118	22,184,806
セグメント利益	58,115	397,372	167,904	929,772	1,553,165	13,498	1,566,663	△226,005	1,340,657

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2)セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2023年3月期 第1四半期決算短信  
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2022/3期		2023/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
連結	3.8億円	29.2億円	※53.4億円	※90.0億円

※ヘンケル社より譲受資産含む。

2. 減価償却実施額

	2022/3期		2023/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
連結	5.2億円	21.7億円	5.4億円	24.0億円

3. セグメント別売上高

	2022/3期		2023/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	43.6億円	175.6億円	46.9億円	192.0億円
製紙用薬品	46.2億円	211.7億円	55.3億円	250.0億円
電子材料	16.0億円	63.0億円	18.5億円	95.0億円
ローター	65.1億円	295.1億円	96.1億円	436.0億円
その他	3.8億円	15.2億円	4.9億円	19.0億円
調整額	△0.4億円	0.0億円	0.0億円	△2.0億円
合計	174.6億円	760.9億円	221.8億円	990.0億円

4. 海外売上高

	2022/3期		2023/3期	
	第1四半期(実績)		第1四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	30.9億円	17.8%	51.0億円	23.0%
欧州	29.4億円	16.8%	42.4億円	19.1%
アジア、オセアニア	35.6億円	20.4%	41.0億円	18.5%
合計	96.0億円	55.0%	134.5億円	60.6%